

前田康裕  
「文と漫画」

創造的な学びが生まれるとき

# まんがで知る デジタルの学び 2

## ◇ まえがき

本書を書いている時、生成AIであるチャットGPTが世間を騒がせました。まるで人間が書いたような文章を瞬時に生成できるこのテクノロジが人類に与えるインパクトは極めて大きいものだからです。これからおそらく様々な議論がなされて、社会的なルール作りなどが行われていくでしょう。また、現在ある職業のいくつかはAIに取って代わられることになるはずですが、

AIが人間と同じような知的活動ができるようになった時代に、教師の仕事はAIに奪われるでしょうか。

読者の皆様は、この問いにどのように答えますか。

そもそもテクノロジとは、人間の夢や願いを叶えるために開発されていくものです。より早く楽に移動したいという願いが自動車を生み出し、より広く確実に情報を伝えたいという願いがインターネットを生み出しました。一方、テクノロジは人間の能力を増幅するがゆえに、使い方を間違えると、とんでもない悲劇を生み出してしまふものでもあります。

前作『まんがで知るデジタルの学び ICT教育のベースにあるもの』は、「コンピュータにはできない人間としての心と力を育ててほしい」という先輩教師から受け継いだ教育観を、若い世代の教

師に渡していくベテラン教師の話でした。

本作は、その物語の続きではなく、同じ年に同じ学校に存在した別の教師の物語です。デジタル機器の操作は得意なのですが、教師としては未熟であり、悩みを抱える若い教師が登場します。物語の前半は、私自身の若いときの経験が元になっており、後半は、現在の私が経験していることが元になっています。したがって、登場人物のセリフや行動には私自身のメッセージがこめられています。その解釈をあれこれと考えながら読んでいただけると、より楽しんでいただけるでしょう。

今回は、各章の最後のページに「創造社会の教育を考える教養書」というコラムをもうけました。きっと、これからの教育を考えていく上で大変参考になると思います。

また、本書のシリーズの一部をコピーして研修会・研究会等で参加者に資料として配布してもよいかという問い合わせをよくいただきます。出典さえ明記していただければ問題ありませんので、ご自由にお使いください。インターネットでの画像の一部引用もかまいません。本書が多くの人に役立つことができれば、作者として大変うれしく思います。

前田康裕

第1章

## 「目的」からはじめる

—— パーパス・ベース・ラーニング —— 9

コラム◎創造社会の教育を考える教養書 ①

伊藤穰一 『テクノロジーが予測する未来』 —— 28

第2章

## 発見を通じた問題解決を重視する

—— ティンカリング —— 29

コラム◎創造社会の教育を考える教養書 ②

トム・ケリー&デイヴィッド・ケリー 『クリエイティブ・マインドセット』 —— 48



第3章

## メタ認知能力を育む

クレームやトラブル ————— 49

コラム◎創造社会の教育を考える教養書

③

三宮真智子 『メタ認知』 ————— 68

第4章

## 精緻化を促す

メディア・リテラシー ————— 69

コラム◎創造社会の教育を考える教養書

④

坂本旬・山脇岳志 『メディアリテラシー』 ————— 88

第5章

## 教職員も協働的・創造的に学ぶ

カリキュラムマネジメント ————— 89

第6章

問いを立てる状況を与える

レジリエンス — 109

コラム◎創造社会の教育を考える教養書 ⑤

外山健太郎 『テクノロジーは貧困を救わない』 — 108

第7章

授業外での学びを楽しくする

アクティブ・ラーナー — 129

コラム◎創造社会の教育を考える教養書 ⑥

前野隆司・前野マドカ 『ウェルビーイング』 — 128

コラム◎創造社会の教育を考える教養書 ⑦

市川力・井庭崇 『ジエネレーター』 — 148

# ありたい姿をイメージする

— デジタル・シティズンシップ —

149

コラム◎創造社会の教育を考える教養書 ③

遠藤洋路『みんなの「今」を幸せにする学校』

168

引用・参考文献 — 172

本シリーズでは一つの小学校の1年間の様子を、  
中心人物を変えながら物語にしていきます。

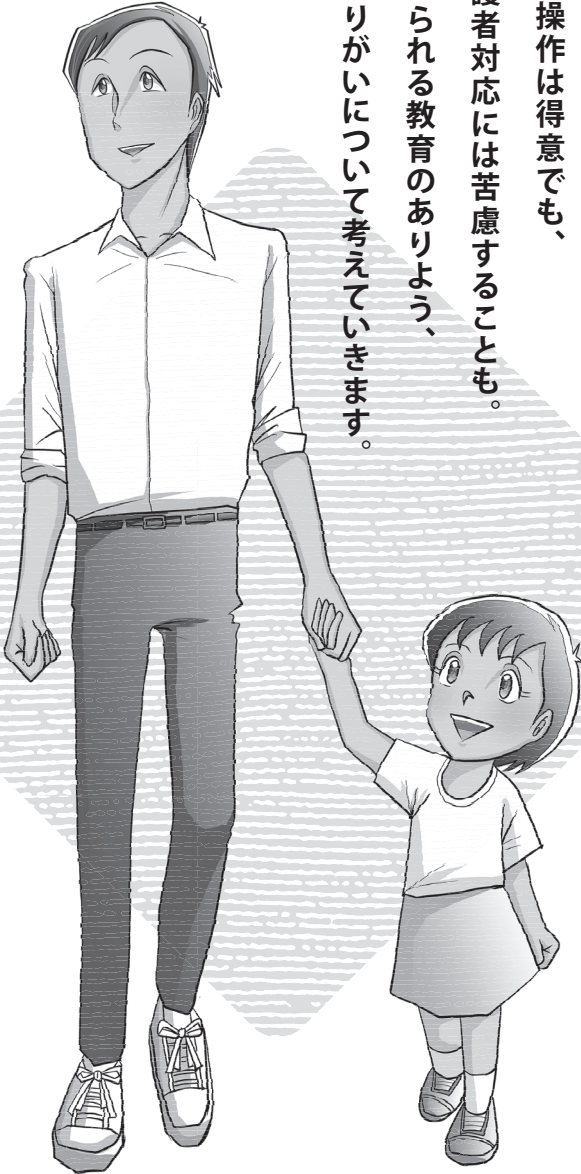
今回は、IT企業から教師に転職して3年目の  
江渡手久実<sup>えどてくみ</sup>先生のお話です。

デジタル機器の操作は得意でも、

学級経営や保護者対応には苦慮することも。

今の時代に求められる教育のありよう、

教師としてのやりがいについて考えていきます。

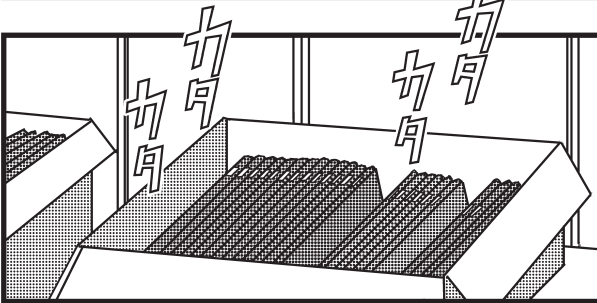




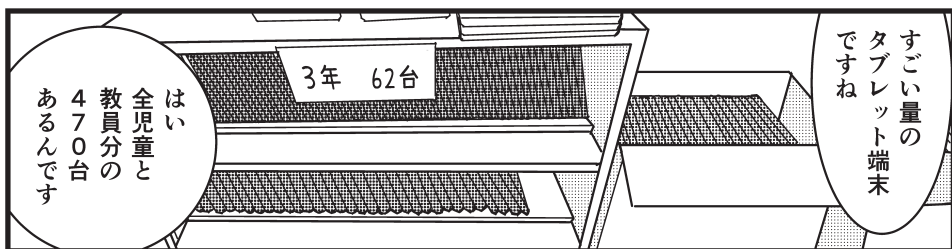
第1章

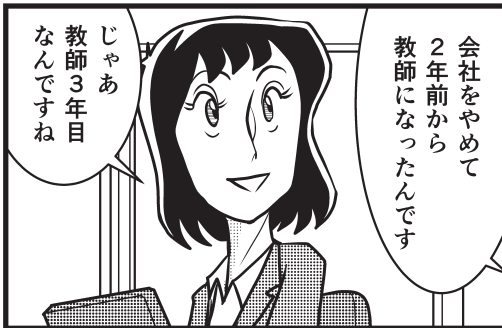
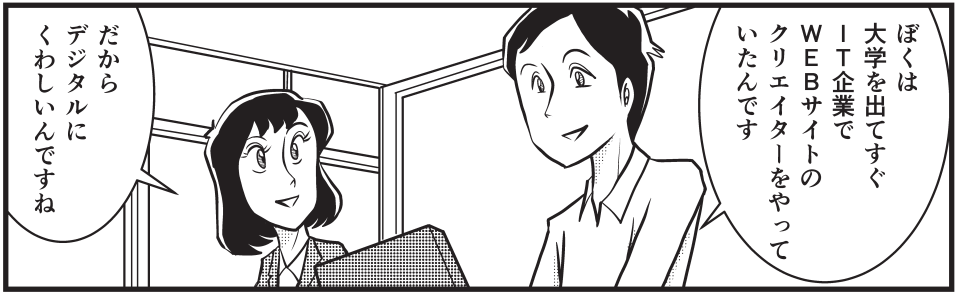
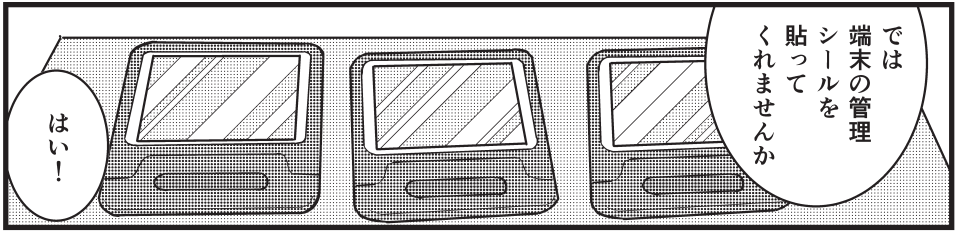
# 「目的」からはじめる

パーパス・ベース・ラーニング

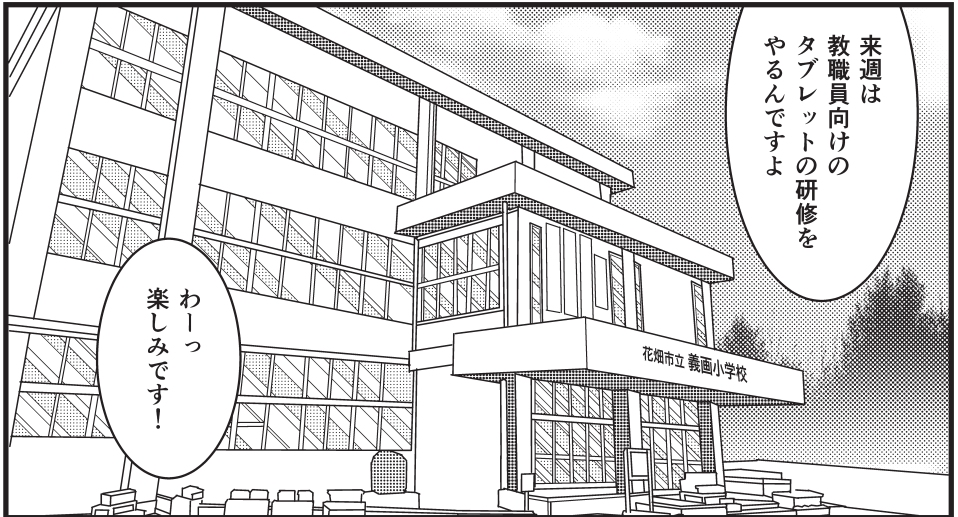


6年1組担任 ICT推進リーダー  
えとてくみ  
江渡手久実(30)







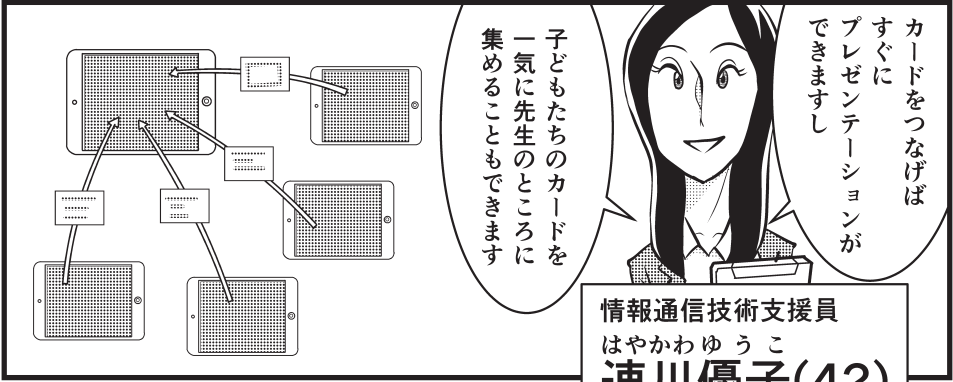




次は  
デジタルカードの  
使い方です

デジタルカードは  
タブレットの  
画面の中に  
電子のカードを作って

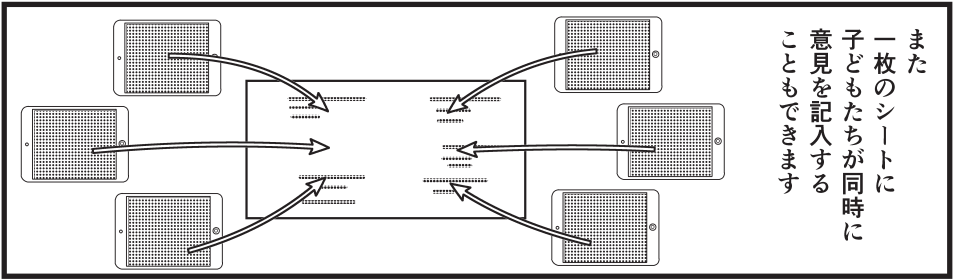
文字や図表  
写真などを貼りつけて  
自由に交換できる  
アプリです



カードをつなげば  
すぐに  
プレゼンテーションが  
できますし

子どもたちのカードを  
一気に先生のとこに  
集めることもできます

情報通信技術支援員  
はやかわゆうこ  
**速川優子(42)**



また  
一枚のシートに  
子どもたちが同時に  
意見を記入する  
こともできます



また  
わからなく  
なっちゃった...

さっき  
教えて  
もらった  
じゃない  
ですか...

5年1組担任 特別活動主任  
**舎貝常道(59)**



大丈夫ですよ

何度でも  
聞いて  
ください

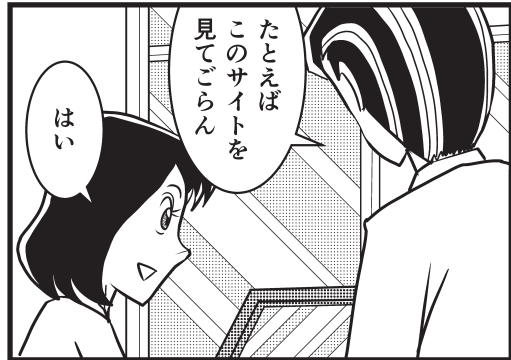
江渡先生  
やさしいなあ





自然にふれながら  
体を思いきり  
動かすことの方が  
大事なんじゃないか

教科の本質を  
大切にしたい  
使い方を  
すすめてほしい



たとえば  
このサイトを  
見てごらん

これからの教師は  
ICTを使って  
学ぶ方法を  
身につけなくては  
ならないんだ

はい

えっ？

自分に必要な学びを自分で選ぶ時代なんだ

「令和の日本型教育」の構築を目指す

児童生徒の多様な学びにおけるICT活用

NITS  
独立行政法人教職員支援機構

現在地点: top > 動画教材

動画教材

教職員支援機構は教師の研修向け動画教材を豊富に提供している※

※<https://www.nits.go.jp/materials/>



あの...  
横からすみません

この学校の  
ICT推進  
リーダーの  
江渡といえます

自分に必要な学びを

自分で選ぶ？

...

吉良良介です

初任者研修  
拠点校指導教員の

初任者研修拠点校指導教員

き らりょうすけ

吉良良介(53)

話の  
よければ

もちろん

わたしも一緒に  
話を聞いても  
よろしい  
でしょうか？

未来も  
予測が  
つかない  
時代だ

この  
30年ほどで  
社会は大きく  
変化した

この答申を  
読んでみよう

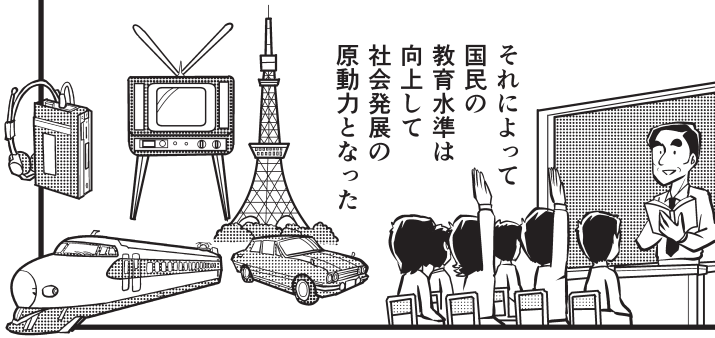
令和3年1月に  
中央教育審議会が  
出した

令和の日本型教育の  
構築を目指して

変革の時代？

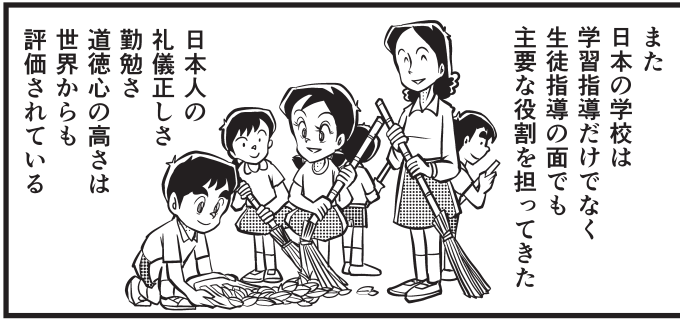
それとともに  
教育も変革の時代を  
迎えているんだ





それによって  
国民の  
教育水準は  
向上して  
社会発展の  
原動力となった

日本では明治5年の  
学制の公布以降  
質の高い学校教育が  
全国どこでも  
提供される  
ようになった



また  
日本の学校は  
学習指導だけでなく  
生徒指導の面でも  
主要な役割を担ってきた

日本人の  
礼儀正しさ  
勤勉さ  
道徳心の高さは  
世界からも  
評価されている



一方  
「みんなと同じことが  
できる」  
「言われたことを  
言われたとおりにできる」  
ということが重視されて  
きたことによって

まちがっては  
いけない  
みんな  
同じことを  
同じように

「正解の暗記」の比重が  
大きくなり  
「同調圧力」を感じる  
子どもが増えていった  
という指摘もある



社会の変化が激しく  
多様性が求められる今  
ICTも活用しながら  
自ら学習を調整できる  
「自律した学習者」を  
育てるために

個に応じた指導を  
充実させることが必要だ

子ども1人1人の特性や  
学習進度に応じて教材などを  
提供する  
「指導の個別化」

特性

学習進度



指導の個別化

子どもの興味・関心に応じて  
探究的な学習に取り組む機会を  
提供する  
「学習の個性化」

興味・関心

探究



学習の個性化

個別最適な学び

「個別最適な学び」と  
よばれるものだ

もちろん

これまででも重視されてきた  
「協働的な学び」も重要だ

学習課題を  
協働して  
解決する  
ことよって  
それぞれの  
子どもたちの  
個性が生きる  
からだ

つまり

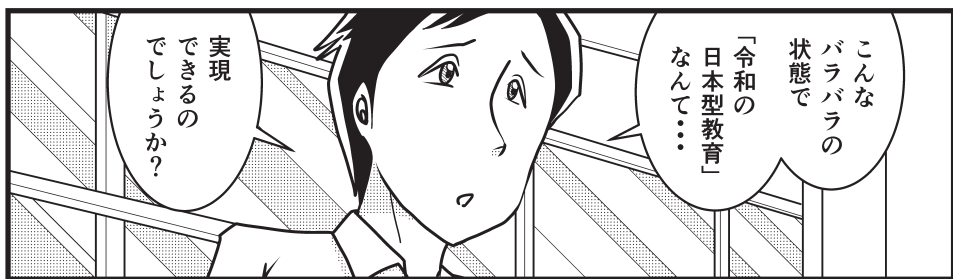
「個別最適な学び」と

「協働的な学び」の

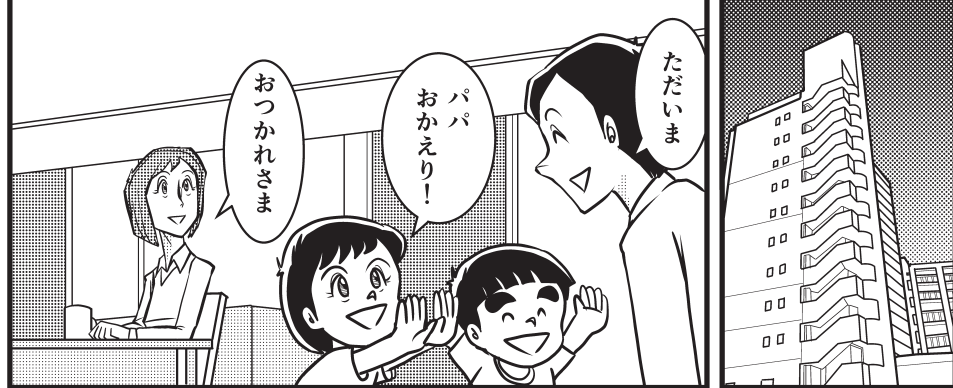
一体的な充実が求められるんだ



協働的な学び



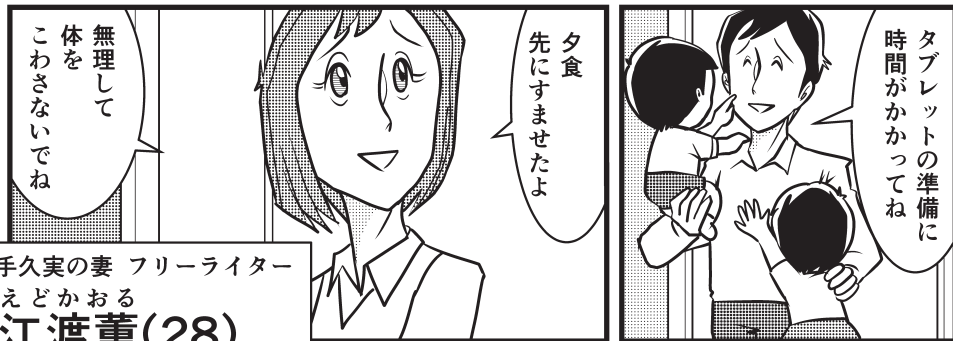




ただいま

パパ  
おかえり!

おつかれさま

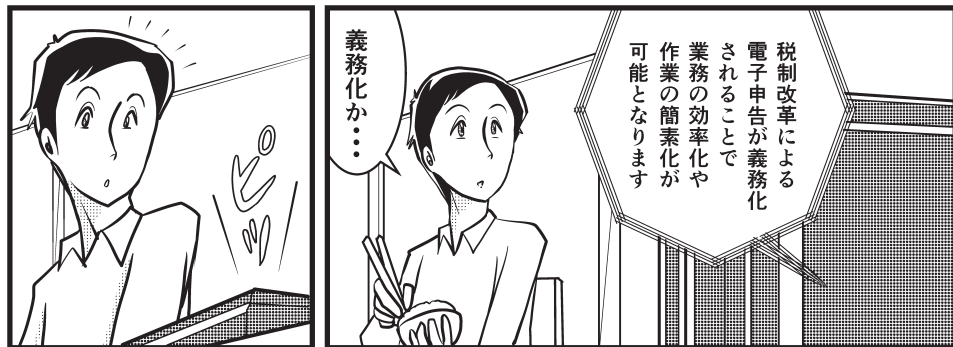


タブレットの準備に  
時間がかかってね

夕食  
先にすませたよ

無理して  
体を  
こわさないでね

手久実の妻 フリーライター  
えどかおる  
**江渡薫(28)**



税制改革による  
電子申告が義務化  
されることで  
業務の効率化や  
作業の簡素化が  
可能となります

義務化か...



旗良木社長...

### 再就職の依頼

江渡くんへ  
お久しぶり  
うちの会社が今、昇り調子で  
人が足りなくなっている。  
君のセンスとスキルがぜひ必要だ。  
教師をやめて、うちの会社で  
もう一度働いてくれないか。  
(株)YMインスティテュート  
社長 旗良木 安造

